記者発表資料

平成２４年１１月１９日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

相馬福島道路（阿武隈東道路）トンネル中央分離帯を新工法で施工
～コンクリート防護柵の施工でコスト削減～

相馬福島道路（阿武隈東道路）の松ヶ房トンネルは、平成23年7月に貫通し、現在順調に舗装工事が進んでいます。

今回、平成24年度内の工事完成を目指している「松ヶ房トンネル舗装工事」において、*東北で初めてとなるトンネル内コンクリート防護柵の施工に「スリップフォーム工法」を採用*し、従来の工法より*コスト削減*を図ります。

このたび、現場見学会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

１．開催日時　：　平成２４年１１月２２日（木）　１３：３０～１５：００頃

２．開催場所　：　宮城県伊具郡丸森町筆甫地内（松ヶ房トンネル坑内）
「松ヶ房トンネル舗装工事現場見学会集合場所」（別添図参照）

３．そ の 他　：　当現場見学会では、報道関係者のみならず、行政関係者、一般の方々も対象としています。

発表記者会等：南相馬市役所記者クラブ、東北専門記者会、福島建設工業新聞

問い合わせ先
【事業に関すること】
国土交通省　磐城国道事務所
ＴＥＬ　０２４６－２３－２２１１（代表）
副所長　柴田孝助　（内線２０４）
工務課長　嶋津君雄　（内線４１１）
【現場見学会に関すること】
国土交通省　磐城国道事務所　相馬出張所
ＴＥＬ　０２４４－３５－１１４５（代表）
建設監督官　田中隆紹

記者発表資料

平成 24 年 11 月 19 日
大林道路(株)東北支店
松ヶ房トンネル舗装工事作業所

東北初のトンネル内のコンクリート防護柵施工の見学会を実施します！

・相馬福島道路（阿武隈東道路）は、復興支援道路として、線形不良区間の解消をはじめ、災害時の救援活動の支援など地域の皆様方から早期完成への強い期待が寄せられております。

・このたび「松ヶ房トンネル(L=1319m)の舗装工事が最盛期を迎え現在、中央分離帯(コンクリート防護柵)の施工中の、見学会を実施します。

・今回、施工する中央分離帯は東北で初めてトンネル内に設置されるコンクリート防護柵をスリップフォーム工法で施工するものです。

・このたび、現場見学会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

・ 実施場所：発注先　国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
阿武隈東道路　松ヶ房トンネル
松ヶ房トンネル舗装工事　集合場所　(別添図　参照)

・ 実施日時：平成 24 年　11 月　22 日（木）13:30～15:00 頃

(参加希望の方は人数を事前に FAX で下記作業所にご連絡下さい。ヘルメットは持参の事)

〈発表記者会:　南相馬市役所記者クラブ、東北専門記者会、福島建設工業新聞〉

問い合わせ先

大林道路(株)東北支店　松ヶ房トンネル舗装工事　作業所
監理技術者　　國安　真由子
ＴＥＬ　0244-32-5620
FAX　0244-32-5621

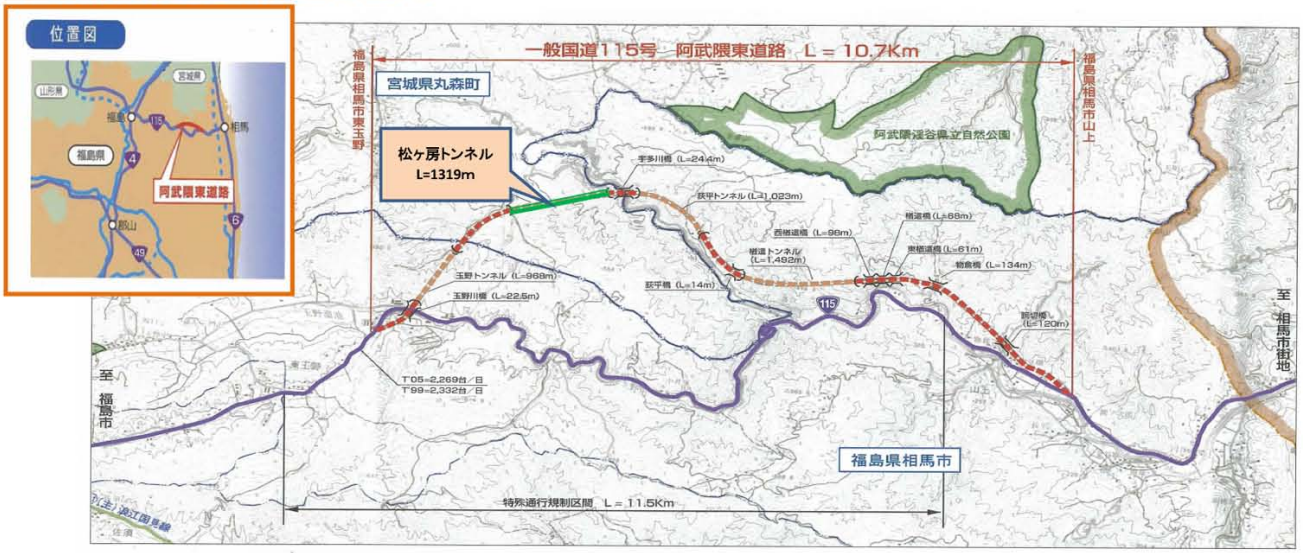
松ヶ房トンネル舗装工事　工事概要書

阿武隈東道路の一部である宮城県伊具郡丸森町筆甫地内の松ヶ房トンネル内でコンクリート舗装工事を行っています。

今回は**中央分離帯コンクリート防護柵のスリップフォーム工法**を紹介します。

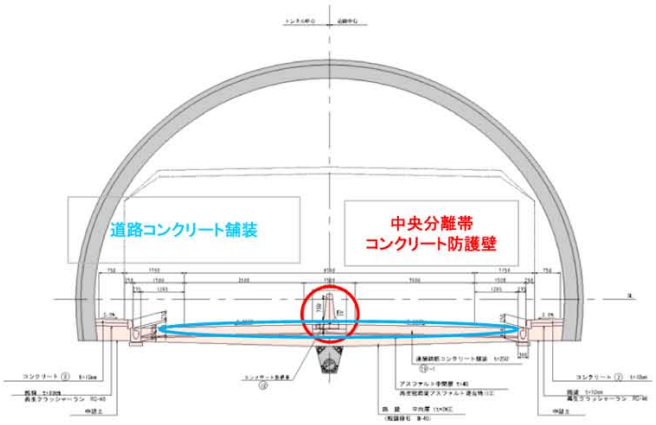
スリップフォーム工法で行うトンネル内でのコンクリート防護柵の施工は**東北で初めて**です。

阿武隈東道路改築工事区間

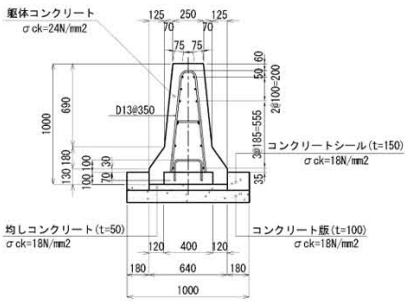


松ヶ房トンネル舗装工事の特徴

■ 松ヶ房トンネル　標準断面図



■ コンクリート防護柵　断面図



道路コンクリート舗装と中央分離帯コンクリート防護柵は型枠を使わず**スリップフォーム工法**で施工します。

現在スリップフォーム工法によるコンクリート舗装は完了しました。

コンクリート防護柵本体打設に先立ち、メッシュ鉄筋を連続鉄筋になるように組み立てます。





コンクリート舗装完了後の状況





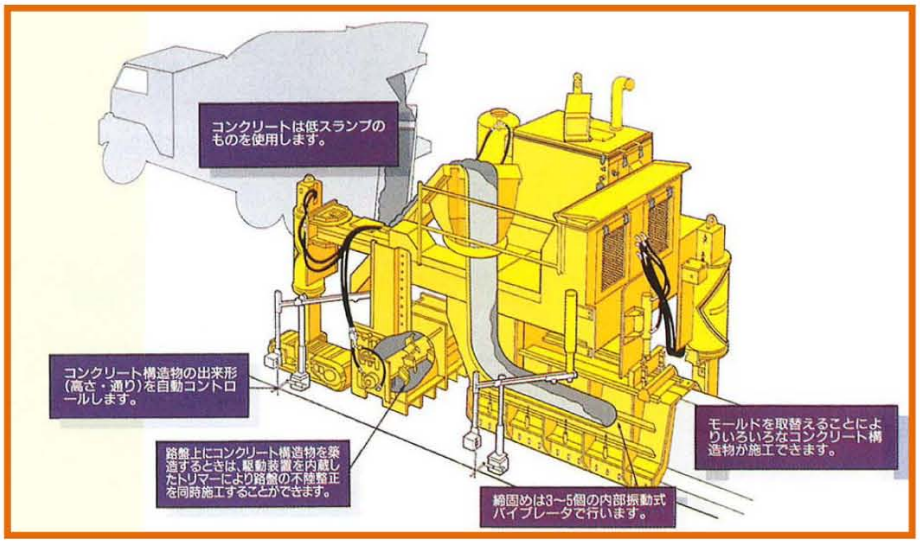
コンクリート防護柵鉄筋組立状況

スリップフォーム工法によるコンクリート防護柵の施工

スリップフォーム工法とは

スリップフォーム工法とは、成型機に鋼製型枠（モールド）を取り付け、モールド内にコンクリートを投入しその内部で締固め成型を行います。同時に成型機を前進させることにより同一断面の構造物を連続して構築していく工法です。

（型枠を設置しないでコンクリートを連続的に打設できる工法です。）



スリップフォーム　概要図

スリップフォーム工法の特徴



1. コンクリートは成型後の未硬化コンクリートの変形抵抗性や断面寸法の精度を確保するため低スランプのものを、打設時のモールドとの摩擦抵抗の低減等を 考慮し空気量は通常よりやや多めのものを使用します。
   今回の配合は　24－3－25BB、空気量は6．0%です。



2. 型枠の設置・撤去が不要。
   機械主体の施工なので省力化・省人化が図れます。
   作業員不足の今、有効な施工です。

3. 施工速度が速いため、工期短縮が図れます。

	作業速度（m/分）	1日当たり施工延長 新設路線（m/日）	断面積参考（m2）
コンクリート防護柵	0.7	154	0.443

実作業7時間当たりの施工延長



施工条件が良好で施工効率が向上した場合は工期短縮やそれに伴うコスト縮減も期待できます。

4. 工事延長が長いほどスケールメリットが生じます。
   大型機械を使用しての工事であり、準備・運搬費等の費用が発生するため、一般的に1,000m程度を超える延長の場合は在来工法と比べ有利になるものもあります。

松ヶ房トンネル舗装工事　現場見学会集合場所



集合場所
松ヶ房ダム管理事務所　駐車場







位置図



連絡先

〒976－0151

相馬市山上字荻平13-1

大林道路㈱
松ヶ房トンネル工事作業所
TEL　0244－32－5620
FAX　0244－32－5621